



平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月10日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 大澤 弘毅

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	1,424	4.2	285	21.2	284	21.6	189	26.6
29年12月期第1四半期	1,366	25.2	235	46.7	234	47.8	149	48.1

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 187百万円 (27.3%) 29年12月期第1四半期 147百万円 (50.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	19.57	
29年12月期第1四半期	15.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第1四半期	4,057	3,227	79.5	334.07
29年12月期	3,916	3,107	79.3	321.65

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 3,227百万円 29年12月期 3,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		7.00	7.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	1.4	360	4.2	360	4.4	228	6.3	23.63
通期	5,250	6.8	740	8.3	740	8.1	469	8.2	48.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	10,242,000 株	29年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	30年12月期1Q	582,237 株	29年12月期	582,237 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	9,659,763 株	29年12月期1Q	9,659,763 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に雇用・所得環境の改善も続く一方で、海外情勢の影響及びわが国の地政学的リスクの高まりなどにより先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、投資情報事業、ファンドディスクロージャー事業が順調に業績を伸ばしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,424百万円(前年同期比57百万円増、4.2%増)、営業利益は285百万円(前年同期比49百万円増、21.2%増)となりました。また、経常利益は284百万円(前年同期比50百万円増、21.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は189百万円(前年同期比39百万円増、26.6%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

大手証券会社向けに提供するレポート作成システムの機能追加や、ネット証券会社に提供している個人投資家向け銘柄分析ツールの新機能追加などによる開発案件が業績に寄与しました。また、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタル・アイニュース』が堅調に推移しております。

その結果、売上高は348百万円(前年同期比34百万円増、11.0%増)、営業利益は149百万円(前年同期比23百万円増、18.8%増)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

証券・生命保険資料の印刷・配送につきましては、生命保険資料を中心に売上を伸ばしております。一方、連結子会社の株式会社東京ロジプロは売上高は増加しましたが、調達コストの増加により営業利益が減少しました。また、連結子会社である株式会社アイコスの翻訳サービスについては、収益率は向上しているものの、前第1四半期連結累計期間に計上した大型案件との差を埋めきれず、減収減益となっております。

その結果、売上高は349百万円(前年同期比26百万円増、8.3%増)、営業利益は26百万円(前年同期比6百万円減、21.0%減)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場全体の純資産総額は株式市場の影響で減少が見られますが、純資金流入は継続して流入超過となっております。これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は好調に推移しております。また、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービスについても好調を継続しております。特にソリューションサービスでは、確定拠出年金運営管理機関向け文書管理システムの開発案件が売上高を伸ばす要因になりました。

その結果、売上高は514百万円(前年同期比82百万円増、19.1%増)、営業利益は143百万円(前年同期比31百万円増、28.2%増)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は堅調に推移しておりますが、前第1四半期連結累計期間に大型案件が計上されたことにより前年同期比では減収となっております。一方、マイグレーションサービスについては、受注案件の進捗は順調に推移しております。

その結果、売上高は211百万円(前年同期比81百万円減、28.0%減)、営業利益は50百万円(前年同期比8百万円減、13.6%減)となりました。

<その他事業>

「データ化サービス」などの提供を推進しておりますが、事業拡大に苦戦を強いられております。

その結果、売上高は1百万円(前年同期比3百万円減、72.9%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業損失5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ141百万円増加し、4,057百万円となりました。

流動資産合計は170百万円増加し、3,222百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が102百万円増加したことに加え、受取手形及び売掛金が40百万円増加、仕掛品が34百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は29百万円減少し、835百万円となりました。主な要因は、のれんの償却により14百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し、830百万円となりました。

流動負債は26百万円増加し、708百万円となりました。主な要因は、買掛金が18百万円増加したことによるものであります。固定負債は5百万円減少し、121百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ120百万円増加し、3,227百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益189百万円の計上による増加と、剰余金の配当67百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月9日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,897	2,551,639
受取手形及び売掛金	473,615	513,984
仕掛品	50,182	84,902
その他	78,951	71,536
流動資産合計	3,051,646	3,222,062
固定資産		
有形固定資産	72,271	71,705
無形固定資産		
のれん	401,834	387,231
ソフトウェア	65,694	81,803
その他	21,775	1,469
無形固定資産合計	489,305	470,504
投資その他の資産	302,977	293,264
固定資産合計	864,554	835,474
資産合計	3,916,201	4,057,536
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,678	245,394
未払法人税等	112,818	108,260
賞与引当金	18,021	49,398
その他	325,041	305,849
流動負債合計	682,559	708,903
固定負債		
退職給付に係る負債	16,505	11,475
その他	110,074	110,074
固定負債合計	126,580	121,550
負債合計	809,139	830,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	2,352,553	2,473,976
自己株式	△77,928	△77,928
株主資本合計	3,095,444	3,216,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△182	△313
為替換算調整勘定	11,798	10,529
その他の包括利益累計額合計	11,616	10,215
純資産合計	3,107,061	3,227,082
負債純資産合計	3,916,201	4,057,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	1,366,288	1,424,093
売上原価	800,448	813,729
売上総利益	565,840	610,363
販売費及び一般管理費	330,640	325,252
営業利益	235,200	285,111
営業外収益		
受取利息	802	662
受取配当金	153	174
持分法による投資利益	383	502
助成金収入	—	1,500
その他	178	219
営業外収益合計	1,518	3,059
営業外費用		
支払利息	8	—
為替差損	2,408	3,196
その他	17	7
営業外費用合計	2,433	3,204
経常利益	234,284	284,966
特別損失		
固定資産除却損	—	0
事務所移転費用	5,189	—
特別損失合計	5,189	0
税金等調整前四半期純利益	229,095	284,966
法人税、住民税及び事業税	78,952	103,424
法人税等調整額	798	△7,498
法人税等合計	79,750	95,925
四半期純利益	149,344	189,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,344	189,041

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	149,344	189,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△131
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,046	△1,269
その他の包括利益合計	△1,999	△1,401
四半期包括利益	147,344	187,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,344	187,640

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	313,682	322,354	432,054	293,050	5,147	1,366,288	—	1,366,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,203	—	4,650	—	10,853	△10,853	—
計	313,682	328,557	432,054	297,700	5,147	1,377,142	△10,853	1,366,288
セグメント利益又は 損失(△)	126,014	33,245	111,832	58,872	△5,293	324,670	△89,469	235,200

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△89,469千円には、セグメント間取引消去△191千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△89,278千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	348,118	349,069	514,424	211,082	1,397	1,424,093	—	1,424,093
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,555	—	9,959	—	16,514	△16,514	—
計	348,118	355,625	514,424	221,041	1,397	1,440,607	△16,514	1,424,093
セグメント利益又は 損失(△)	149,670	26,264	143,404	50,861	△1,742	368,458	△83,347	285,111

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△83,347千円には、セグメント間取引消去△129千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△83,218千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。